

産業建設部 (地域振興課・地域整備課)

問 産業立地促進事業にかかる物産センターの地域商社化・DMO化に向けた「おむすびハウス」の業績について問う。

答 令和2年9月16日にスタートし、この3月末で285万2千円の売上があった。今年4月から7月までの売上は235万2千円となっている。好調に売り上げが推移している。

問 町道維持事業費について、町道26路線の中で、どこをどの様に修繕されたかを問う。

答 毎年度、西側、東側路線を同じ位の量の修繕を行っている。

問 コロナ禍の中、本町への観光者の状況について問う。

答 観光協会からはコロナ禍の中でも減少していないと聞いている。施設に配架している観光ガイドブック「のせCAN」もかなりの部数が出ていることで実感としては減少していないと考える。

問 ごみの減量化に向けた実効性のある取組みについて問う。

答 生ごみ堆肥化器使用の勧奨周知を行うとともに、地域の資源集団回収に紙・布類の分別収集を行い、ごみステーションへ持ち込むごみの減量に向けて周知している。

地域振興課：産業立地促進事業、観光物産センター運営、人・農地プラン、認定農業者、新規就農者、火葬業務、ごみ収集事業、資源集団回収事業、能勢栗振興事業、獣害対策事業、里山活力創造推進事業、耕作推進支援事業、中小規模事業所経営継続応援助成金事業、土地改良区事業費補助金、地域農業再生協議会補助金、多面的機能支払交付金事業、観光振興事業、ため池ハザードマップ、家畜伝染予防法の防疫対策等

地域整備課：浄化槽設置整備事業、町道維持事業、交通安全施設整備事業、町営住宅管理基金積立金等

教育委員会 (学校教育総務課・生涯学習課)

問 設置から25年以上が過ぎたB&G海洋センターにおいて、今後を見据えたスポーツ用品や備品等の更新の計画を問う。

答 開設後30年が経過し当時の備品も老朽化している。全て新しくはできないが、その時代にあったスポーツ用品を揃えていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止にかかる学校支援員の配置事業について問う。

答 8月下旬から大学生を小中学校に1名ずつ配置し、教師と授業に入る他、採点等の事務補助を行った。

問 職場体験学習についてキャリアチャレンジのオンライン形式について問う。

答 対面で職場体験ができないので、オンラインで企業の方の話を聞くこととした。

問 全国的に教職員の勤務時間が大変長いとの指摘がある。本町の学校現場はどの様に改善されたか。

答 年度初めから異例の休校となり、それを取りもどすため夏休みの短縮も行った。元年度と比較して努力はしたが改善には至っていない。毎月校長会等を実施し教職員の在校時間について意見交換を行い、改善に向けて努力している。

学校教育総務課：ICT教育環境整備事業、学校施設管理事業、教職員ストレスチェック負担金、GIGAスクール構想整備委託料、英語教育推進事業、先進地視察、学力向上支援事業、標本活用等業務、学校給食補助金、能勢町奨学基金等

生涯学習課：図書室運営、浄るシアター自主事業、B&G海洋センター、名月グランド運営管理、天然記念物診断・保全管理事業、文化財説明板整備保守事業、けやき資料館運営管理、生涯学習センター、生涯学習講座事業等

◇ 令和2年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

9月24日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

国保の一元化、国民健康保険加入者に新型コロナウイルス感染症に対する健康増進支援金、資格証交付等について質疑がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

賛 否

認定

井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	平田 要
○	○	○	○	○	×	○	○	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

続いて、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について、令和2年度の決算内容を審議し、採決の結果、それぞれ賛成多数で認定すべきものと決定しました。